

25-5



大和中TIME



『見せよう、私たちのすばらしさを！』

校長 赤松 知

H. 25.
9. 16



大和コミュニティ
マスコット「ひびきくん」

まもなく前期が終了する。この半年間を振り返ってみると、子供たちの成長の跡がいたるところに伺える。

例えば、7月末に実施した意識調査によると、「学習時間」は昨年度と比較し2年生では10ポイントも伸びている。また、「挨拶」では、保護者の評価は高く、子どもたちも4ポイント上昇が見られる。部活動でもよく活動している。日に日に上達していることが見て取れる。例えば、校長室にいると吹奏楽部の練習がよく聞こえるが、4月の音と今の音では数段の違いだ。美術造形部でも、作品の掲示を見ると数段の取組みのよさがみられる。他の部でも同じだ。音楽や美術の素人の私にもわかる。

その中で、本校は8月の「市教育フォーラム」で全校合唱を発表したが、私は発表の朝、子どもたちにこう言った。「見せよう、この歌のもつ思いとすばらしさを、見せよう、私たちのすばらしさと大和中の底力を・・・と。子どもたちは、震災の被災を受けた小本中学校へ思いをよせ、思いを馳せ歌った。私は発表後、子どもたちに「ありがとう」と感謝の言葉を伝えた。本当にすばらしい発表だったし、多くの方から「大和中はすごい」「大和中のレベルは高い」などとお褒めの言葉も頂いた。

運動会でも同様であったように、次に子どもたちが、どんなすばらしさを見てくれるのか楽しみだ。子供たちの無限の可能性を信じ、じっと見つめることにしよう。

運動会特集 (裏面に続く)

猛暑の夏休みから一転、8月下旬から運動会まで、二つの台風、秋雨前線の影響で雨、雨、雨…危うし、運動会、乗り切れたのか？運動会？？？ この様子は裏面で・・・。

サマースクール 究張ったよ！

夏休みのほぼ半分、特にお盆までの間に集中的に行われたサマースクール。6教科、19講座、開設しました。部活動の待ち時間や終わった後に取組む人など様々でしたが、よく頑張っていました。今後も「やればできるようになる！」というスタンスでいきましょう。!



行事予定

- 1日（火）生徒集会
- 2日（水）研修職員会
- 5日（土）6日（日）秋季県大会
- 7日（月）小中ふれあい交流活動
- 8日（火）予備日
- 11日（金）前期終了日 募金の日
- 12日（土）13日（日）新人大会、新人選抜陸上大会
- 14日（月）祝日：体育の日
- 15日（火）後期開始日
- 16日（水）青少年健全育成大会（スポセン）
- 19日（土）長距離継走大会（周防小）
- 21日（月）第3回定期テスト
- 27日（日）文化祭
- 28日（月）振替休日
- 29日（火）委員会
- 30日（水）31日（木）3年パパママ事業
1・2年共通学力テスト

10月の 行事予定



待ちます。

ステージ登壇後、最初に支援活動をまとめたプレゼン発表を生徒会長の岡村寧音さんが務め、4月から取組んだ合唱は、山本真帆さんの指揮で、この日、8月1日の、あの時と同じように、心を一つにして始まりました。



『絆～かけがえのないあなたへ～』

それぞれの道へ 一歩踏み出そうとしている
歩いてきた道 振り返ると
信じあえる 仲間がいた

悲しいときも つらいときも
いつもそばにいて 励ましてくれる
君の手はあたたかくて
心の奥にぬくもりを感じた

君がいるから大丈夫
君がいるからこわくない
どんな壁も どんな不安も
一緒に乗り越えられる
信じ合っているから

君と過ごした日々は
かけがえのない宝物
強く 想い 胸に抱いて
前だけを見て 歩いてゆく

君がいるから大丈夫
君がいるからこわくない
大切な仲間 大切な絆
いつまでもつながっていく



全校登校日 8/1
岩手県岩泉町立小本中の小野校長先生が来校！



この日、大和中が東日本大震災の復興ボランティア活動を始めてから2年、被災の大きかった岩泉町立小本中学校への支援に対して、小本中学校の小野校長先生が本校に来校されました。

本校の赤松校長先生は、支援を始めてから小野校長先生と幾度となく手紙やメ

ールで連絡を取り合ってきました。
その中で、「小本中への支援をもっと心に届けたい！」「大和中の子どもたちへ心からの感謝の気持ちを伝えたい！」そんな思いが形となった8月1日の登校日でした。

小本中学校のみなさんが創り上げた合唱曲『絆～かけがえのないあなたへ～』を、本校の生徒全員が小野校長先生の目の前で心を込めて歌いました。

きっと小本中の生徒のみなさんの心にも届いたはず！ 1200km離れた岩手県から、列車を乗り継いで、今までの支援に対して感謝の気持ちをたくさんもって来られた校長先生、これに素晴らしい歌声で応えた大和中の生徒のみなさん！ぜひ、このことを心の中の宝物として大切にしてほしいと思います。



教育フォーラム 8/23
小本中へ届け！ 大和中のみんなの歌声！
「絆～かけがえのないあなたへ～」



運動会 大特集 朱雀VS白虎



8月末から2度の台風の影響で、天候が不順で、思うような練習ができずに天気が回復することを願った日が続いたが、ようやく3日前に天候が回復し、それから夕方までグランドで、体育館でと活気があふれる練習が続いた。予行も今年は中止し、ただひたすら、一つひとつの競技練習に取り組んだ。おかげで何とか本番に間に合わせることができた。

そして、その本番みんなの笑顔が満ち溢れ、力を出し尽くした好演技が続出し、本当に胸を張れる運動会を保護者や地域の方々に見てもらえたと思います。



実行委員会のあるべき姿 ・後輩につなげ!

実行委員会。生徒たちが自ら立案し、実行計画を立て、細々とした準備をこなし、やってみて不具合があればみんなに丁寧に気付きを言い、また、繰り返す。そんな運動会が今年できた。各種目ごとに実行委員が担当につき、そのまとめ役として3年生が中心となって進めてきた運動会。特に夏休み後半の登校日に行われたはじめての練習では、説明をするのにうまく言えずに時間がかかったりしました。しかし、朝早くから、夕方遅くまでグランドで動き回る一生懸命な姿に、日を追う毎にみんながしっかりと協力をしようとする雰囲気も生まれました。自分たちの運動会、大和の子たちは、確実にひとつ成長できたのではないだろうか。



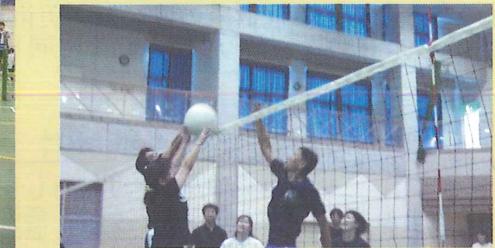
大和地域の小・中学校PTA球技大会
・昨年度はなんと大和中学校PTAチームがAブロック、Bブロックでそれぞれ優勝をしたことは昨年度の本号でお知らせしました。今年も再び・ということで6月から毎週末に練習を開始し、親睦を深めるとともにチーム力のアップを目指しました。

結果は、本校のBチームが優勝ということで、夢よ再び・が現実となりました。大きなけがもなく、試合後には、昼食を兼ねて大和公民館で懇親会も行われ、親睦を深めました。

それにしても、本校のPTAのお母さん方の上手なこと・・・！本当に驚くばかりでした。この場をお借りして、お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。もちろんお父さん方もですよ！！！



大和地域小・中学校 8/3 PTA球技大会 ~勝負の行方は?~



小中連携教育研修会 & 8/9 小中ふれあい交流打合せ



今年度の大和地域小・中連携教育の取組は、研究主題が『コミュニケーション能力を育む』～豊かな学びと豊かな人間関係の確立を目指した小・中連携教育～です。その取組みの一つとして、授業づくりや交流づくりなどの各部会ごとの話し合いや各教科連携のための情報交換を行いました。

また、そのなかでも、10月に中学生1・2年生が小学校に出向いて活動する小中ふれあい交流活動については、1回目の事前打合せを体育館で行いました。各講座の代表生徒たちは久しぶりに小学校の時の先生とも出会い、懐かしそうな様子を見せながらも、打合せには真剣な表情で取組んでいました。10月まで準備期間も十分にある中で、小・中の枠をこえた人間関係づくりや来年度の新入生が、明るく活力をもって入学できるような活動が仕組めるといいと思います。



各種大会の結果

県中学校選手権大会 7/20～

- ◆男子バスケットボール部
1回戦 ● 46-72 長府
- ◆女子バスケットボール部
1回戦 ○ 60-41 黒石
2回戦 ○ 32-20 秋月
3回戦 ● 44-71 高千帆
- ◆バレー部
1回戦 ● 0-2 三隅
- ◆女子卓球部 個人戦 石田真梨子
1回戦 ● 1-3

通信陸上大会 7/20～

- 女子1年100m 山口侑華
3年100m 金本実華
いずれも準決勝進出

光市近郊球技大会 7/24～

- ◆野球部 優勝
- ◆バレー部 2位
- ◆女子バスケットボール部 2位

光市中学校秋季大会 7/27～

- ◆男子バスケットボール部 優勝
- ◆バレー部 2位

光市中学校陸上大会 8/2 男子総合

- | | 3位 |
|-------------------|----|
| 1年100m 金本将太郎 | 2位 |
| 200m 森次政裕 | 2位 |
| 400m 藤田康平 | 2位 |
| 走高跳 吉村和樹 | 1位 |
| ・女子総合 | 2位 |
| 1年100m 山口侑華 | 2位 |
| 100m 金本実華 | 2位 |
| 200m 岡村寧音 | 2位 |
| 400m 林 千夏 | 1位 |
| 走高跳 林 鈴夏 | 1位 |
| 4×100mR 金本実華、寺嶋文香 | 2位 |
| | |
| 岡村結衣、岡村寧音 | |

県吹奏楽コンクール 8/2 ◆吹奏楽部 銅賞

菊づくり 暑い夏を乗り越えて

今年の夏はとても暑い日が続きました。そんな環境の中で、秋に大輪の花を咲かせるために、日当たりに気をつかい、水遣りに気をつかい、栄養に気をつかい、台風に気をつかい…本当に好きでなければできない菊づくり。そんな中でも、特に水遣りが一番大変でした。

とにかく雨が降らない日が何日も続いたので、毎日、朝・夕の水遣りが欠かせなかったのです。が、学校当番の子どもたち、昨年度もお世話になった三輪の河村さん、岡崎先生、諸先生方の努力で、少し、秋が楽しみになってきました。期待してください。

